

将来市場推計調査の方針

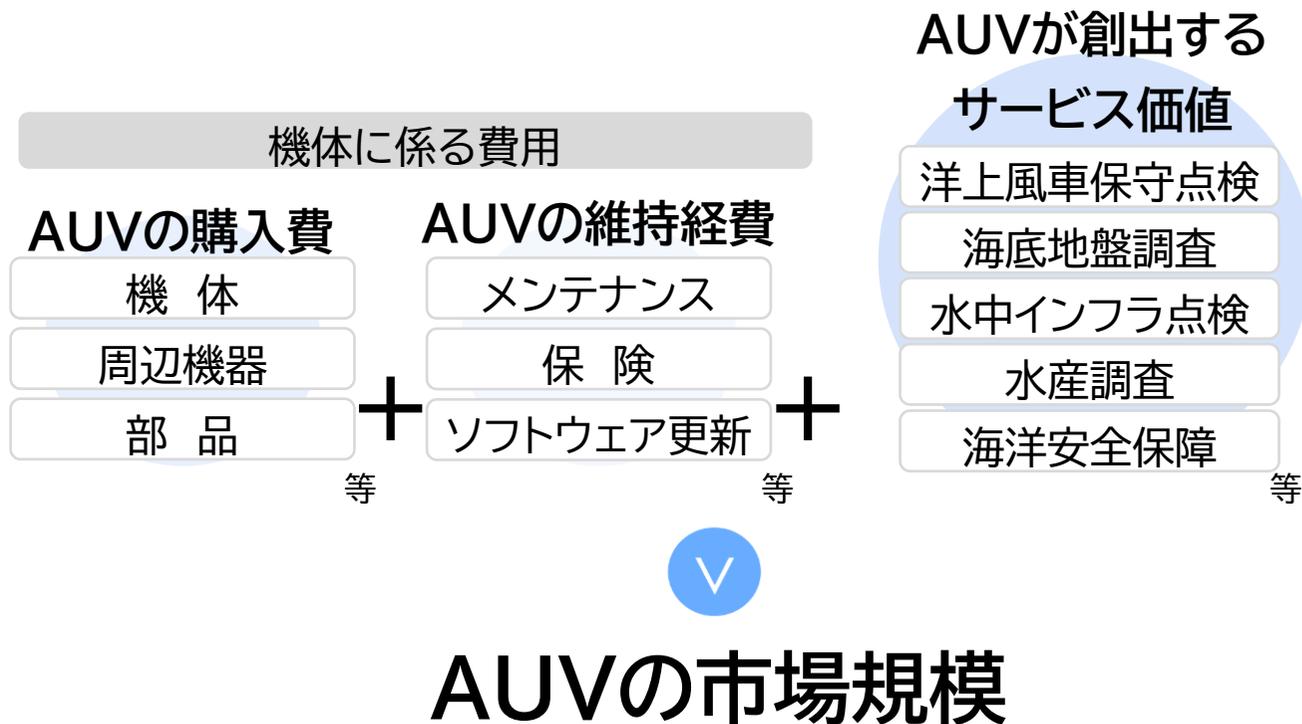
令和6年度 自律型無人探査機(AUV)官民プラットフォーム
第1回

2024年7月24日

1. 本調査における市場規模推計の定義

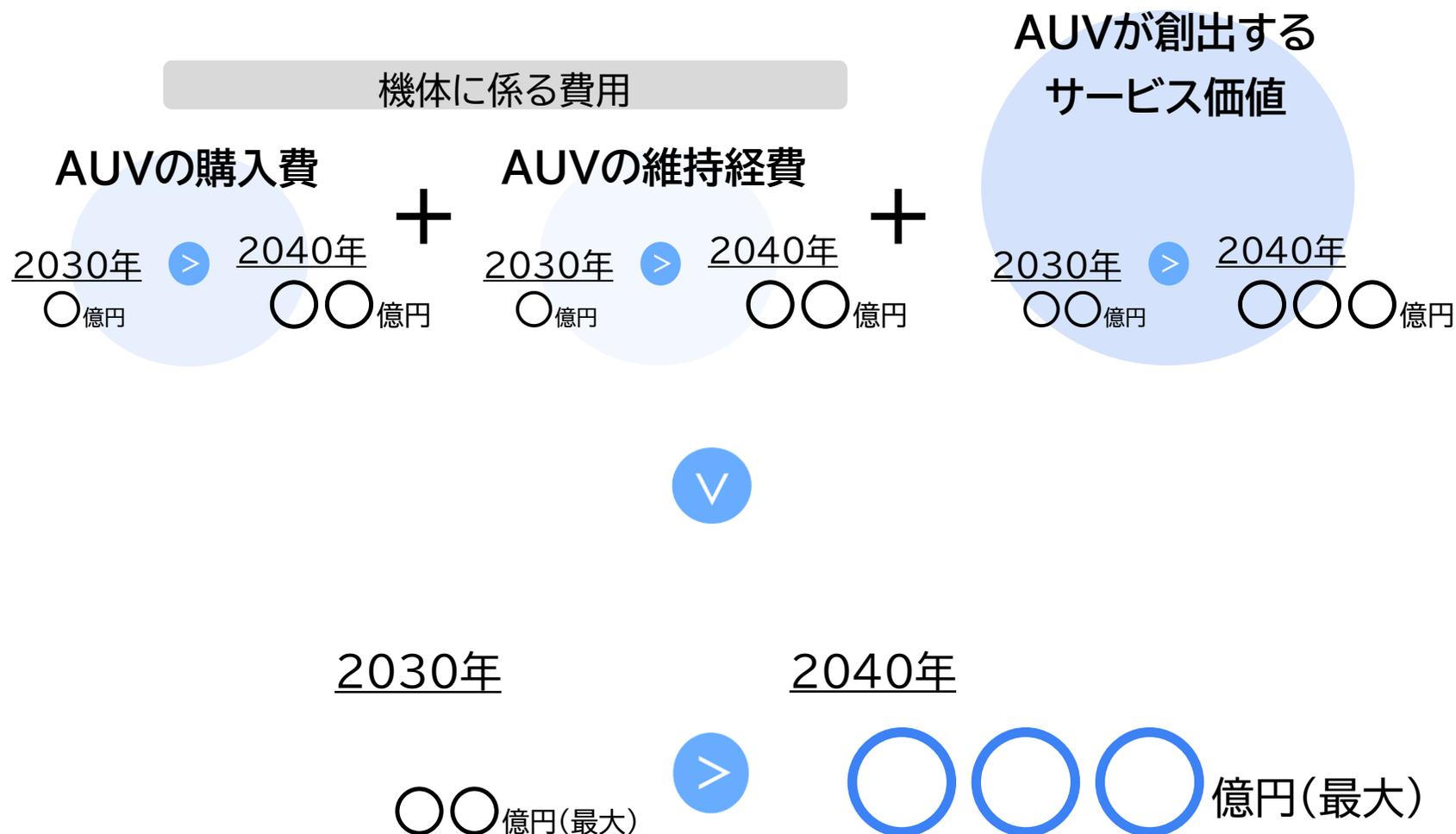
- 本調査において推計する市場規模の範囲は、「機体に係る費用」及び「AUVが創出するサービス価値」と定義する。
- シナリオ※による推計とし、2030年、2040年の各断面を推計する。

※ AUVの普及率が高い場合(AUVを活用推進にあたっての課題が解決されている状態)と抑制された場合(AUVを活用推進にあたっての課題が十分ではない状態)の2シナリオに基づき推計。



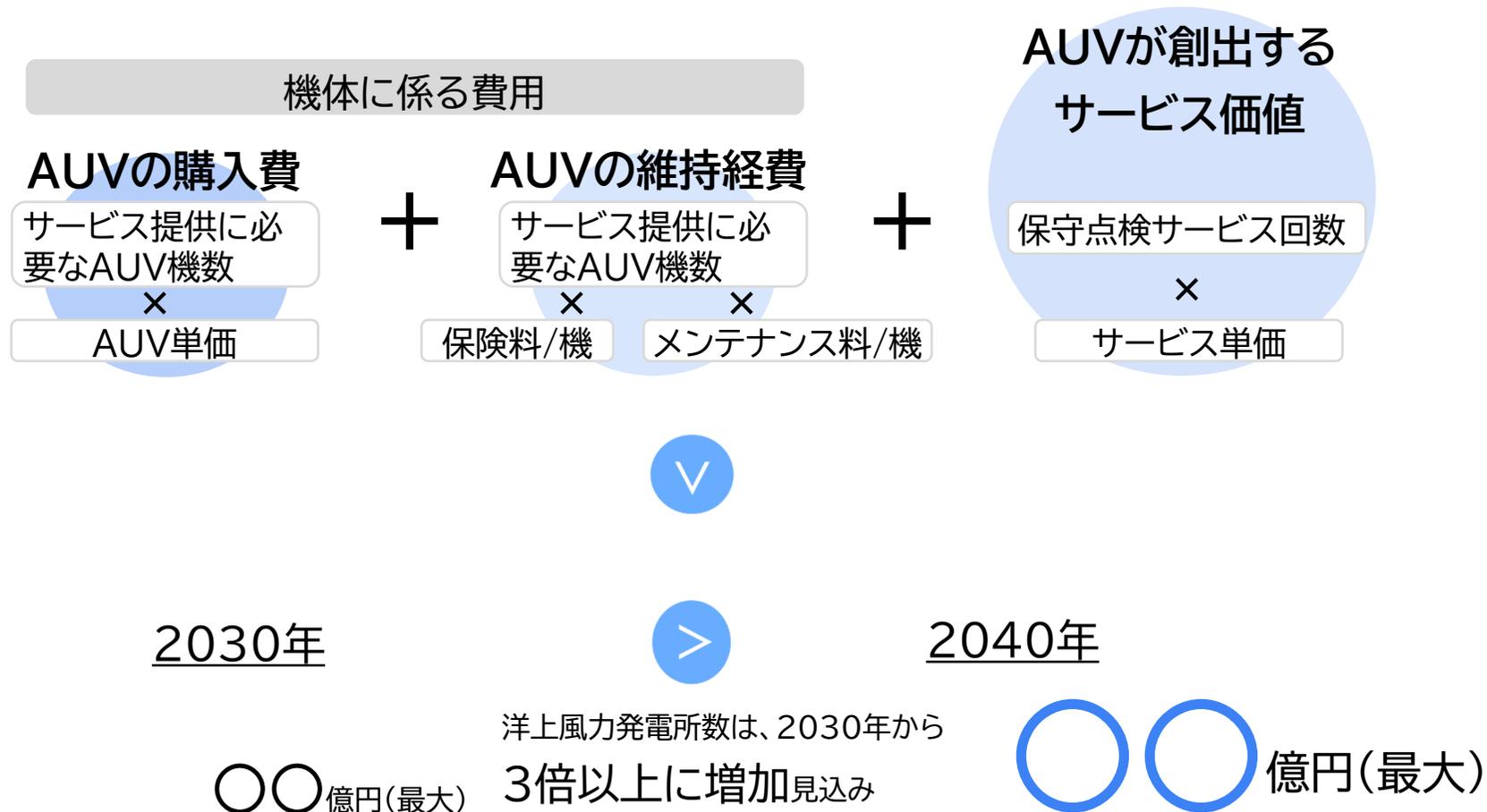
4. 結論(イメージ)

- 第4回官民PFでは、以下のイメージで結論をご説明



5. (参考)洋上風力発電所における保守点検AUVの市場規模推計の考え方

- 洋上風力発電所における保守点検を例として、AUVの市場規模推計の考え方を整理



6. 今後の予定

- 第4回官民PFにおいて、AUVの市場規模推計結果を報告
- ユースケース分析をさらに進めるとともに、ヒアリング、文献調査等を行い、数値を精緻化

第1回 官民PF

1. 本調査における市場規模推計の定義
2. 世界のAUV市場規模推計
3. 他分野の市場規模推計事例
4. 結論(イメージ)
5. (参考)洋上風力発電所における保守点検
AUVの市場規模推計の考え方
6. 今後の予定



第4回 官民PF

1. 本調査における市場規模推計の定義
2. 世界のAUV市場規模推計
3. 他分野の市場規模推計事例
4. 結論
5. (参考)洋上風力発電所における保守点検
AUVの市場規模推計

※青色字は、第1回官民PFからの変化事項



数値精緻化に向けたアクション

- ✓ 他のユースケース分析(水産、水中インフラ、資源探査を中心に10ユースケース以上を分析)
- ✓ 官民PFを通じた情報収集
- ✓ 文献調査
- ✓ ヒアリング(20件程度を予定)